

# 「甲子園で悔しさ晴らす」

光星運動部  
全校報告会 硬式野球部が決意



## 八戸

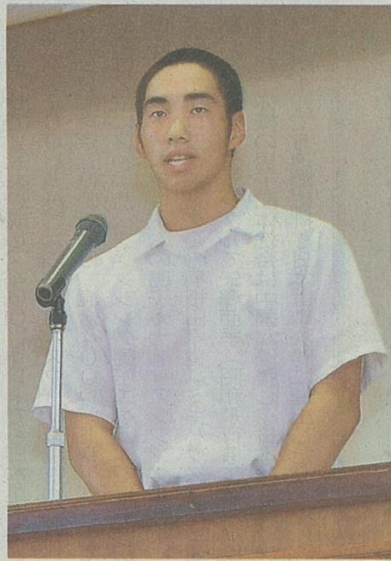
八戸市の八戸学院光星高校は22日、全国大会に出場した運動部の成績報告会を同校体育館で行った。第100回全国高校野球選手権に本県代表として出場した硬式野球部も登壇し、全校生徒に甲子園での戦いぶりを報告した。(高松拓輝)

◆ 硬式野球部は仲井宗基監督と長南佳洋主将が発表した。仲井監督は「生徒の皆さんの声援のおかげで選手

は力を発揮できた」と感謝。その一方で「新たな課題を甲子園は与えてくれた。この悔しさはまた甲子園で晴らしたい」と決意を語った。

長南主将は「暑いなか駆け付けてくれた皆さんの応援のおかげで力以上のものが出せた」と大会を振り返り「悲願の東北初優勝は果たせなかったが、後輩にその思いを託し、壁を乗り越えてほしい」と話した。

このほか、全国高校総体(インターハイ)に出場した男子バスケットボール部、陸上競技部、ソフトテニス部、レスリング部、柔道部の主将らも登壇。「実力は発揮できた」「結果は悔しいが、後輩たちには頑張ってもらいたい」などと戦績や感想を述べた。



【写真上】全国大会に出場した6運動部が戦績や感想を述べた報告会。八戸学院光星高校体育館  
【同下】「応援のおかげで実力以上のものを出せた」と全校生徒に感謝を述べる硬式野球部主将の長南さん